

令和6年7月12日
国土交通省関東地方整備局
常総国道事務所

令和5年度 優良工事等常総国道事務所長表彰について

常総国道事務所では、令和5年度に完成した工事、完了した業務の中で、「特に優れた成績を収めた工事、業務、技術者」について、令和5年度優良工事等表彰式を下記のとおり執り行いますのでお知らせします。

また、建設業全体の「生産性向上」及び「働き方改革」等につながる優れた実績を有している企業について、従来表彰とは別に関東インフラDX大賞として表彰を行います。

- 日時 令和6年7月17日（水）
第1部 10:30～ 第2部 13:30～ 第3部 15:00～
- 場所 常総国道事務所 第3会議室
- 表彰件数及び人数（詳細は、別添資料「令和5年度 事務所長表彰一覧」のとおり）
 - 優良工事関係
 - ・優良工事 8件、優秀工事技術者 7名 [第1部] [第2部]
 - ・優良下請企業 9件、優秀下請技術者 9名 [第1部] [第2部]
 - 優良業務関係
 - ・優良業務 3件、優秀業務技術者 3名 [第1部]
 - 難工事功労表彰 26件 [第1部] [第2部] [第3部]
 - 新技術活用・生産性等向上工事表彰 3件 [第3部]
 - 関東インフラDX大賞 1件 [第2部]
- 取材を希望される方は、別紙に基づき、電子メールにて申し込みください。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、千葉県政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 常総国道事務所

電話：029-826-2040（代表） E-mail：ktr-jousou@mlit.go.jp

副所長（技） 阿部 （内線：205）

事業対策官 吉永 （内線：208）

報道機関の皆様へ

◆取材等の申し込みについて

【期 日】 令和6年7月16日（火）12：00 まで

【申込み】 メールには、以下の内容をご記載ください

件名：【取材希望】優良工事等事務所長表彰

本文：①氏名（ふりがな）、②社名、③連絡先（電話・Mail）

【送 付】 送付先：ktr-jousou@mlit.go.jp

◆その他

ご来館の際には以下についてご留意ください。

- ・ 写真撮影等は式の進行の妨げにならないようお願いいたします。
- ・ 腕章を持参のうえ、各社1名まででお願いします。
- ・ マスクの着用は任意とします。ただし、風邪のような症状がある場合には、参加をお控えいただきますようお願いいたします。

令和5年度 事務所長表彰一覧

優良工事等表彰

＜優良工事及び優秀工事技術者＞

工事名	会社名	優秀工事技術者		区分
R5圏央道神崎地区改良その1工事	株式会社新井組 東京支店	監理技術者	金谷 頼房	第2部
R4東関道石神地区改良その2工事	奥村組土木興業株式会社 東京支店	監理技術者	塩見 章仁	第2部
R4圏央道芝高架橋下部その1工事	株式会社加賀田組 東京支店	—	—	第2部
R3東関道四鹿地区改良その2工事	キムラ工業株式会社	監理技術者	布施 昌俊	第2部
R4東関道中根地区外跨道橋下部工事	常総開発工業株式会社	現場代理人	根本 裕介	第1部
R4東関道南高岡地区改良工事	昭和建設株式会社	現場代理人	仙波 朋樹	第2部
R4東関道茂木地区改良工事	高橋建設株式会社	現場代理人	野川 恵裕	第1部
R4圏央道神崎地区改良その2工事	株式会社堀建設	監理技術者	園 真頼	第2部

※会社名:五十音順

＜優良下請企業及び優秀下請技術者＞

工事名	会社名	優秀工事技術者		区分
R4東関道石神地区改良その2工事	アース開発株式会社	主任技術者	濱淵 隆二	第2部
R4東関道中根地区外跨道橋下部工事	大竹重機建設株式会社	主任技術者	山中 健太	第1部
R5圏央道神崎地区改良その1工事	共生建設株式会社	主任技術者	生川 雅美	第2部
R4東関道石神地区改良他工事	株式会社小堀	主任技術者	市原 昭一	第1部
R4東関道茂木地区改良工事	有限会社土子建材	主任技術者	羽生 克秀	第1部
R4東関道南高岡地区改良工事	東亜グラウト工業株式会社	主任技術者	丹野 浩平	第2部
R3東関道清水地区改良工事	株式会社フクイン	主任技術者	加納 智	第1部
R4圏央道芝高架橋下部その1工事	株式会社三浦建設工業	主任技術者	浅野 秀人	第2部
R3東関道四鹿地区改良その2工事	株式会社三浦建設工業	主任技術者	高橋 友希	第2部

※会社名:五十音順

<優良業務及び優秀技術者>

業務名	会社名	優秀技術者		区分
R4東関東水戸線地質調査4C11業務	株式会社ジステック	主任技術者	中根 俊介	第1部
R4東関東水戸線道路修正設計他4C8業務	大日コンサルタント株式会社 東京本社	管理技術者	田中 敦	第1部
R5東関東水戸線環境調査5C2業務	株式会社長大	管理技術者	平田 健太郎	第1部

※会社名:五十音順

難工事功勞表彰

工事名	会社名	区分
R3東関東石神地区跨道橋下部その2工事	株式会社秋山工務店	第3部
R3東関東四鹿地区函渠その2工事	株式会社浅川組 東京支店	第3部
R4国道6号牛久土浦BPつくば地区跨道橋上部工事	株式会社安部日鋼工業 東京支店	第3部
R4圏央道神崎下総地区改良工事	株式会社新井組 東京支店	第2部
R3東関東串挽地区外跨道橋上部工事	オリエンタル白石株式会社 東京支店	第3部
R4圏央道芝高架橋下部その1工事	株式会社加賀田組 東京支店	第2部
R3国道6号牛久土浦BPつくば地区改良工事	株式会社加藤建設 東京支店	第3部
R3東関東中根地区下部その1工事	株木建設株式会社 茨城本店	第3部
R4圏央道尾羽根川橋下部その2工事	株木建設株式会社 東京本店	第3部
R4東関東野友地区跨道橋上部その3工事	極東興和株式会社 東京支店	第3部
R3東関東清水地区跨道橋下部工事	幸武建設株式会社	第3部
R4東関東中根地区外跨道橋下部工事	常総開発工業株式会社	第1部
R3東関東野友地区改良その2工事	昭和建設株式会社	第2部
R3東関東茂木地区跨道橋下部工事	鈴縫工業株式会社	第3部
R4東関東ため池橋下部工事	大旺新洋株式会社 東京土木支店	第3部
R3東関東前川地区外改良工事	大昭建設株式会社	第3部
R4東関東古高高架橋下部工事	日東エンジニアリング株式会社	第3部
R3東関東築地地区跨道橋下部その2工事	日鋪建設株式会社	第3部
R4東関東長野江地区外跨道橋上部工事	日本高圧コンクリート株式会社 PC事業部 東京支社	第3部
R3東関東両宿地区外跨道橋上部工事	株式会社日本ピーエス 東京支店	第3部
R3東関東水戸神栖線橋下部工事	株式会社ノバック 東京本店	第1部
R3東関東串挽地区改良工事	松尾建設株式会社	第3部
R4東関東青沼地区跨道橋下部工事	松崎建設株式会社	第1部
R3東関東長野江地区改良工事	株式会社森組 東京本店	第3部
R4東関東潮来ICランプ橋上部工事	矢田工業株式会社	第3部
R3東関東前川橋上部工事	株式会社横河NSエンジニアリング	第3部

※会社名:五十音順

新技術活用・生産性等向上工事表彰

工事名	会社名	区分
R3東関道延方地区改良工事	株式会社アレスコ	第3部
R4圏央道つくば地区改良工事	株木建設株式会社 茨城本店	第3部
R5圏央道神崎地区改良その2工事	松浦建設株式会社	第3部

※会社名:五十音順

関東インフラDX大賞

工事名	会社名	区分
R4東関道石神地区改良その2工事	奥村組土木興業株式会社 東京支店	第2部

【参考】局長表彰 令和6年7月11日に関東地方整備局長から優良工事等として表彰された工事等

<優良工事及び優秀工事技術者>

工事名	会社名	優秀工事技術者	
		現場代理人	
R4東関道行方地区環境整備他工事	高橋建設株式会社	現場代理人	野月 崇
R3東関道清水地区改良工事	株式会社ノバック 東京本店	監理技術者	田中 孝雄
R4東関道石神地区改良他工事	松崎建設株式会社	現場代理人	関野 雅美

※会社名:五十音順

<優良業務及び優秀技術者>

業務名	会社名	優秀技術者	
		管理技術者	
R4圏央道つくば大栄間道路修正設計他4K7業務	株式会社道路建設コンサルタント	管理技術者	野平 晴美

令和5年度 優良工事等の表彰について

1. 目的

(優良工事表彰)

優良工事表彰は、常総国道事務所発注の工事を受注し、その施工が優秀であって他の模範とするに足りるものを表彰することにより、技術の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

(優秀工事技術者表彰)

優秀工事技術者表彰は、常総国道事務所発注の工事を担当した現場代理人及び主任（監理）技術者の中から表彰を行うことにより、技術者の誇りと資質の向上を図り、もって円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

(優良下請企業表彰及び優秀下請技術者表彰)

優良下請企業表彰及び優秀下請技術者表彰は、下請けとして担当した工事の品質、出来ばえ等が優秀な下請企業及び工事中における功績が顕著な下請技術者を表彰することにより、技術の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

(優良業務及び優秀技術者表彰)

優良業務及び優秀技術者表彰は、その成果及び業務への取り組み方が優秀であり他の模範となるものを表彰することにより、技術力の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

(難工事功労表彰)

社会条件やマネジメント特性の厳しい工事を対象とした「難工事指定」試行対象工事のうち、施工が良好で他の模範とするに足りるものを表彰することにより、技術の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的とした制度です。

(新技術活用・生産性等向上工事表彰)

新技術や3次元データ等の活用により生産性、品質、安全性等の向上を図る取組が優れた工事を選定し、これを表彰することにより、建設生産システム全体の生産性向上等への取組の裾野を拡大し、より一層増進させることを目的とした制度です。

(関東インフラDX大賞)

建設業全体の「生産性向上」及び「働き方改革」等につながる優れた実績をベストプラクティスとして横展開されることを目的として関東インフラDX大賞を創設しました。

常総国道事務所所管の工事及び業務に関し、「生産性向上」及び「働き方改革」等につながる優れた取組を選定し、これを表彰することにより、インフラ分野のDXが推進されることを期待しています。

2. 選定方法

優良工事等の選定は、常総国道事務所管内の建設監督官及び関係各課から推薦された工事及び業務の中から、優良工事等選定委員会において審査を行いました。

3. 選定方針

(優良工事)

- ①当該工事の成績が優良なもの、又はその功績が顕著なもの。
- ②工事の難易度や、創意工夫、安全対策への取り組み等が特に優れているもの。

(優秀工事技術者)

- ①当該工事技術者の担当した工事が優良であり、かつ、工事中における当該工事技術者の功績が顕著なもの。
- ②管理能力、技術能力、仕事に対する積極性、誠実性等が優れているもの。

(優良下請企業表彰及び優秀下請技術者表彰)

- ①下請として担当した当該工事の品質、出来ばえ等が優秀なもの、かつ、工事中における当該工事技術者の功績が顕著なもの。

(優良業務及び優秀技術者)

- ①当該業務の成績が優良なもの、又はその功績が顕著なもの。
- ②業務計画段階から全体を掌握し、優れた企画力を発揮、積極的に斬新な提案を行うなど創意工夫がみられるもの。
- ③技術的に高度で複雑な業務を遂行し、優良な成果として取りまとめているもの。

(難工事功労)

- ①「難工事指定」試行対象工事のうち、当該工事の施工が良好で、その功績が顕著なもの。

(新技術活用・生産性等向上工事表彰)

- ①当該工事の成績が優良なもの、又はその功績が顕著なもの。
- ②当該工事において、新技術や3次元データ等の生産性、品質、安全性等への活用に前向きであった工事であること。

(関東インフラDX大賞)

前年度完成した工事及び完了した業務を対象に、「有効性」「波及性」「先進性」等の観点をもとに選定しています。

4. その他

今回、表彰を受賞された企業、技術者は、総合評価落札方式等において企業の技術力及び配置予定技術者の技術力評価が優位になります。新技術活用・生産性等向上工事表彰については、常総国道事務所が総合評価落札方式にて発注する工事の入札手続きにおいて、企業の技術力及び配置予定技術者の技術力評価が優位になります。

国土交通省関東地方整備局 常総国道事務所

令和5年度 優良工事等の事務所長表彰について

記者発表資料（参考資料）

優良工事及び優秀工事技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

会社名	株式会社 新井組 東京支店		
ふりがな 技術者名	かなたに よりふさ 金谷 頼房	職種	監理技術者
工事名	R5圏央道神崎地区改良その1工事		
工期	(自) 令和5年6月28日 (至) 令和6年3月29日		
工事概要	本工事は、首都圏中央連絡自動車道のうち、千葉県香取郡神崎町において、地盤改良工及び擁壁工等を施工するものである。		
表彰理由 【工事】	<p>当該箇所は、圏央道のPA整備として駐車場やランプなどの工事が輻輳しているが、他工事との調整を行いつつ工事全般を通じ、品質、出来形、安全に対し十分な管理を行った。</p> <p>また、施工箇所周辺は蓮田、稲田に隣接しているという現地状況に対し、工事後においても従前どおりの耕作が継続できるよう水路復旧や農道整備を行うなど地域の要望を踏まえつつ、工期内に無事故で工事を完成させたことから本工事を表彰するものである。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>当該技術者は常に工事全体を把握し、専門的な知識及び技術力を十分発揮し、適切な施工管理を行うとともに、施工箇所周辺は蓮田、稲田に隣接しているという現地状況に対し早期に施工過程の状況を耕作者へ説明するなど、工事進捗に応じコミュニケーションを図り良好な関係を築くなど、工事全般に関し取り組む姿勢が評価できるものであったことから、優秀技術者として表彰するものである。</p>		

完成又は施工状況写真



固結工施工状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

会社名	奥村組土木興業 株式会社 東京支店		
ふりがな 技術者名	しおみ あきひと 塩見 章仁	職種	監理技術者
工事名	R4東関道石神地区改良その2工事		
工期	(自) 令和4年11月21日 (至) 令和6年3月29日		
工事概要	本工事は、東関東自動車道水戸線(潮来～銚田)約31kmのうち、茨城県行方市青沼地先及び同市小高地先の道路改良(道路土工・地盤改良工・カルバート工)を施工するものである。		
表彰理由 【工事】	本工事は、青沼地区及び小高地区の2箇所において道路改良工事を行うものである。若手技術者による体制の中、CIMモデルやICT道路土工の活用、建設ディレクター制度の積極的採用への取組など働き方改革として生産性の向上を図り無事故・無災害で工事を竣工させたことから本工事を表彰するものである。		
表彰理由 【技術者】	当該技術者の適切な安全管理により無事故・無災害で工事を竣工させた。また海外や地元(自衛隊・土浦市・国総研・インターン)からの現場視察の対応も積極的に実施したことから当該技術者を表彰するものである。		

完成又は施工状況写真



函渠コンクリート打設状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

会社名	株式会社 加賀田組 東京支店
工事名	R4圏央道芝高架橋下部その1工事
工期	(自) 令和4年6月11日 (至) 令和5年9月29日
工事概要	本工事は、首都圏中央連絡自動車道のうち、千葉県成田市芝地先において、芝高架橋の橋脚2基を施工するものである。
表彰理由【工事】	当該箇所は、狭小な施工ヤードとなっているが、鉄筋組立施工ヤードの設置等の取り組みにより、工事全般を通じ、品質、出来形、安全に対し十分な管理を行った。 また、供用中の圏央道に近接した施工にあたっては、既製杭工・土留仮締切工の際、接触事故や影響を与えないよう、レーザーバリアの設置や桁下に監視員を配置するなどし、周辺状況へ配慮した施工を行い、工期内に無事故で工事を完成させたことから本工事を表彰するものである。

完成又は施工状況写真



仮締切内掘削状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

会社名	キムラ工業 株式会社		
ふりがな 技術者名	ふせ まさとし 布施 昌俊	職種	監理技術者
工事名	R3東関道四鹿地区改良その2工事		
工期	(自) 令和4年4月1日 (至) 令和5年6月30日		
工事概要	本工事は、東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)約31kmのうち、茨城県行方市四鹿地先における地盤改良工・カルバート工、パイプライン工を施工するものである。		
表彰理由 【工事】	本工事は、横断函渠の施工にあたり現道切り回し、地盤改良(スラリー攪拌)のうえ現場打ち函渠本体を施工するものである。 現場打ち函渠の施工にあたっては、適切な施工プロセスによりコンクリート打設時の配慮(締固め等)を適切に行い良質な品質・出来型のコンクリート構造物を無事故で完成させたことから本工事を表彰するものである。		
表彰理由 【技術者】	当該技術者の適切な安全管理、工程管理及び品質管理により無事故で工事を竣工させた。また近隣住民とのコミュニケーションを良好に行い、工事全般をスムーズに進捗させることができたことから当該技術者を表彰するものである。		

完成又は施工状況写真



函渠コンクリート打設状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

会社名	常総開発工業 株式会社		
ふりがな 技術者名	ねもと ゆうすけ 根本 裕介	職種	現場代理人
工事名	R4東関東道中根地区外跨道橋下部工事		
工期	(自) 令和4年7月30日 (至) 令和6年3月15日		
工事概要	本工事は、東関東自動車道水戸線(潮来～銚田)約31kmのうち、茨城県行方市(No.131、178, 181付近)における工事用道路及び橋梁下部工を施工するものである。		
表彰理由 【工事】	本工事は、当初2箇所の跨道橋下部工施工が3箇所に増工となり、長期に渡る工事となったが、適切な安全管理・工程管理及び品質管理により、無事故、無遅延で工事を竣工させたことから表彰するものである。 また、現場においては、輻輳する他工事との調整による工事用道路の切替え、地元対応など、公共事業のイメージアップにも貢献した。		
表彰理由 【技術者】	当該技術者の適切な安全管理、工程管理及び品質管理により、無事故で工事を竣工させた。また、安全協議会の副会長を務めるなど、安全管理に関する積極的な取り組みから当該技術者を表彰するものである。		

完成又は施工状況写真



橋台コンクリート打設状況



完成

優良工事及び優秀工事技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

会社名	昭和建設 株式会社		
ふりがな 技術者名	せんば ともき 仙波 朋樹	職種	現場代理人
工事名	R4東関道南高岡地区改良工事		
工期	(自) 令和4年8月17日 (至) 令和6年3月29日		
工事概要	本工事は、東関東自動車道水戸線(潮来～銚田)約31kmのうち、茨城県行方市南高岡地先(No189付近)のカルバート工事及び調整池工事を施工するものである。		
表彰理由 【工事】	本工事は、掘削工について、官民境も近接していることから築堤等の越境が懸念されており、事前に綿密な計画を立案する必要があった。このため起工測量からUAV測量を採用し、現況との差異について精査を行い、的確な施工計画が検討され、ICT施工により安全且つ工期内に精度の高い構造物を完成させたことから本工事を表彰するものである。		
表彰理由 【技術者】	当該技術者は、常に工事全体を把握するとともに、専門的な知識及び技術力を十分発揮し、適切な施工監理を行い無事故で工事を完成させた。また積極的な地域とのコミュニケーションにより公共事業のイメージアップに貢献したことから当該技術者を表彰するものである。		

完成又は施工状況写真



17-1号調整池施工中



完成

優良工事及び優秀工事技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

会社名	高橋建設 株式会社		
ふりがな 技術者名	のがわ よしひろ 野川 恵裕	職種	現場代理人
工事名	R4東関道茂木地区改良工事		
工期	(自) 令和 5年 4月 3日 (至) 令和 6年 3月29日		
工事概要	本工事は、東関東自動車道水戸線(潮来～銚田)約31kmのうち、茨城県潮来市茂木地先において、道路土工、地盤改良工(土質改良)、法面工、排水構造物工を施工するものである。		
表彰理由 【工事】	本線路体盛土工において、ストックヤード仮置き土や起工測量からUAVを活用し周辺条件の把握と切土や盛土量など効率的に施工量を算出した確かな施工計画を作成した。 また取得したデータを基にICT施工による効率化を図るとともに、盛土の巻出し厚を正確に管理することで日当たりの必要土量を精査し作業効率を向上させつつ、沈下量や水平変位量の日々確認により盛土の安定的な管理を施工期間全体で実施し作業の手戻りなく施工したことから表彰するものである。		
表彰理由 【技術者】	当該技術者の適切な安全管理・ICT施工による工程管理及び品質管理により、無事故、無遅延で工事を竣工させた。 また、現場においては、現場見学者向けの適切な対応など、公共事業のイメージアップにも貢献したことから、当該技術者を表彰するものである。		

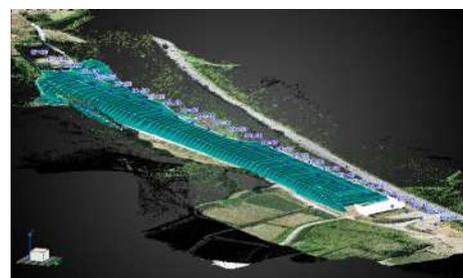
完成又は施工状況写真

ICT活用状況

法面整形⇒盛土巻出し状況



3次元技術を用いたデータ作成



優良工事及び優秀工事技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

会社名	株式会社 堀建設		
ふりがな 技術者名	その まさより 園 真頼	職種	監理技術者
工事名	R4圏央道神崎地区改良その2工事		
工期	(自) 令和5年3月1日 (至) 令和6年1月31日		
工事概要	本工事は、首都圏中央連絡自動車道のうち、千葉県香取郡神崎町において、地盤改良工及び応力遮断壁工等を施工するものである。		
表彰理由 【工事】	<p>当該箇所は、供用済みの圏央道に隣接した施工となるが、工事全般を通じ、品質、出来形、安全に対し十分な管理を行った。</p> <p>また、CIMを活用したリスク(地質、騒音、浸水、既設構造物への影響)に関するシミュレーションや住民説明資料に3次元モデルを活用するなどの取り組みを行うこと等により地元地域に配慮しつつ工期内に無事故で工事を完成させたことから、本工事を表彰するものである。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>当該技術者は常に工事全体を把握し、専門的な知識及び技術力を十分発揮し、適切な施工管理を行うとともに、3次元モデルを活用したわかりやすい住民説明資料を作成するなど地元地域に配慮しつつ、工事全般に関し取り組む姿勢が評価できるものであったことから、優秀技術者として表彰するものである。</p>		

完成又は施工状況写真



固結工(ICT)施工状況



完成

優良業務及び優秀技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

会社名	株式会社ジステック		
ふりがな 技術者名	なかね しゅんすけ 中根 俊介	職種	主任技術者
業務名	R4東関東水戸線地質調査4C11業務		
履行期限	(自) 令和4年10月25日 (至) 令和5年12月28日		
業務概要	本業務は、東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)の地質調査業務である。		
表彰理由	<p>本業務の履行にあたっては、業務の目的及び内容を十分理解し、調査職員と綿密な連携を図りつつ、業務の実施体制を確保し、迅速に業務が進められた。</p> <p>東関東水戸線は、軟弱地盤が多数存在するため、土質状況毎に土質試験と軟弱地盤の解析を行った。また、土質試験と解析データを集計・分析し、土質状況毎に、施工時の留意点等を取りまとめた。</p> <p>以上により、土質に対し、高度な技術力を活用し業務遂行がなされた。</p>		

優良業務及び優秀技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

会社名	大日コンサルタント株式会社 東京本社		
ふりがな 技術者名	たなか あつし 田中 敦	職種	管理技術者
業務名	R4東関東水戸線道路修正設計他4C8業務		
履行期限	(自) 令和4年8月30日 (至) 令和5年8月31日		
業務概要	本業務は、東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)において、軟弱地盤技術解析、道路詳細修正設計、平面交差点詳細修正設計、法面对策設計、橋梁付属物設計等を実施した。		
表彰理由	<p>本業務の履行にあたっては、業務の目的及び内容を十分理解し、調査職員と綿密な連携を図りつつ、業務の実施体制を確保し、迅速に業務が進められた。</p> <p>東関東水戸線は、切土・盛土区間が多く、地下水の影響を受けやすいため、課題と対策を検討し、関係機関と積極的に協議を進め、法面对策設計を取りまとめた。また、工事により付け替えが必要となった用排水についても、関係機関と協議し、迅速に用排水設計を取りまとめた。</p> <p>以上により、積極的かつ効果的な提案を行い、迅速に設計するなど、高度な技術力を活用し業務遂行がなされた。</p>		

優良業務及び優秀技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

会社名	株式会社長大		
ふりがな 技術者名	ひらた けんたろう 平田 健太郎	職種	管理技術者
業務名	R5東関道水戸線環境調査5C2業務		
履行期限	(自) 令和5年4月1日 (至) 令和6年3月31日		
業務概要	本業務は、東関東自動車道水戸線(潮来～鉾田)周辺地域の猛禽類等に関する現地調査及び保全対策検討を行うものである。		
表彰理由	<p>本業務の履行にあたっては、業務の目的及び内容を十分理解し、調査職員と綿密な連携を図りつつ、業務の実施体制を確保し、迅速に業務が進められた。</p> <p>環境調査において、有識者の意見や過年度の検討経緯を整理し、環境保全対策の検討を行い、わかりやすい資料にとりまとめた。</p> <p>環境調査において、積極的な提案を行い、高い技術力と知見に基づき業務遂行がなされた。</p>		

関東インフラDX大賞 表彰理由書

工事名・業務名	R4東関東道石神地区改良その2工事
受注者	奥村組土木興業株式会社 東京支店

工事・業務概要
<p>本工事は、函渠工と切盛土工の施工で情報技術とコミュニケーションスキル(Teamsなど)を利用し、CIMモデルやICT施工と建設ディレクターによるバックオフィス支援を組み合わせることで業務効率化を実現した工事であった。</p> <p>函渠工は、CIMモデルと座標を紐付けて、タブレット上でCIMモデルを現地に重ね合わせて可視化するMR(複合現実)技術を利用した。CIMモデルと施工中の構造物を重ねて表示し、実際に組み立てた鉄筋と設計とのズレを視覚的に確認することで、精度の向上と効率化を実現した。</p> <p>切盛土工は、起工測量と設計の3Dデータを作成し、完成形状と現状地形との関係性を可視化することで、施工性と出来形精度の向上を図るとともに、盛土の締固め回数分布図を用いて効率的でムラのない品質管理を行った。</p> <p>現場工事データをクラウドストレージにて管理共有し、建設ディレクターが日々の締固め回数分布図のチェックを行い、未転圧箇所の情報を現場へ報告したり、ICT土工完了時の3D出来形管理に用いる3Dデータを確認して現場の進捗状況をヒートマップで可視化するなど、遠隔的バックオフィス体制の確立とICT活用を進化させた高度な現場管理を実現した。</p>

表彰理由
<p><有効性></p> <p>躯体構築の照査・施工の効率化を目的としたMR(複合現実)技術の活用や3Dモデル化により、配筋状況の視認性向上に加え、設計照査段階で鉄筋組み立て手順も考慮することで鉄筋交差部や過密部の部材干渉事前検討を実施することが可能となり、配筋計画の深掘りや施工手戻りを防止する事ができた。さらには配筋自主確認の効率化も図る事ができた。</p> <p>ICT道路土工では、従来の測量・丁張設置に割いていた人手と時間を削減し、データ化した3D情報技術を用いて完成形状の線形を機械内モニターでオペレータが視認しながら施工する事で、施工精度の大幅な向上と手直し等ロス削減につなげた。</p> <p>さらに、建設ディレクターにより、締固め回数分布図の日々確認を実施することで、さらなる品質向上に貢献できた。この2つ(CIM・ICT)の情報化施工技術と建設ディレクターとの連携を併用することにより、遠隔的バックオフィスとして現場への支援体制を確立して生産性向上にもつなげた。</p>
<p><先進性></p> <p>情報技術とコミュニケーションスキルで現場を支援する『建設ディレクター制度』を他社に先駆けて現場に取り入れ、現場業務のハブとなってチームで現場管理を進めていた。</p> <p>受注者が全社的に取り組んでいる全現場へ配置されたWebカメラ(safie)の画像を、本支店の各部署に設置された大型モニターで常時放映することで、遠隔地にいながら施工状況を共有し、工事写真の整理や安全管理等の書類作成に役立てていた。CIM活用に関しては、鉄筋交差部や過密部などでの組み立て手順の確認や対応案の検討、ICT土工に関しては、締固め回数分布図のチェックなどi-Construction!に関する業務を担うことで、労働時間の平準化を図った。その結果、現場担当者の内勤業務が軽減され、その分現場管理や人材指導・育成などにも専念できていた。また、建設ディレクターは、TeamsやWebカメラにより繋がるため、遠隔地(今回は大阪)にいながらバックオフィスとして大きく貢献するなど多様な働き方を創出できた。</p>
<p><波及性></p> <p>2024年4月から始まる働き方改革では、長時間労働への対応や勤務環境の改善などが求められる一方、建設業の担い手不足は深刻で、離職対策や入職者確保が課題となっている。</p> <p>未経験者、女性や介護離職者等の新たな職域となるべく創設された建設ディレクター制度を、多様な働き方が可能な遠隔的バックオフィスで活用することで、建設業への就業窓口を広げるとともに職場環境の改善による離職者の減少が期待できる。また、経験を積むことでスキルの向上が見込め、専門性が高い高度な業務への対応が実現すれば、更なる活躍が可能である。</p> <p>当工事では建設キャリアアップシステム連動サイトによる、施工体制・安全衛生書類の確認や下請への指導、電子建退協および施工管理ソフトに関する業務補助等も遠隔的バックオフィス業務に取り入れ、さらにはCIM3次元モデル構築技術を取得させるなどの取組みも行っており今後も活用の幅が広がることが期待される。</p>

【有効性】

(CIMモデルの活用)

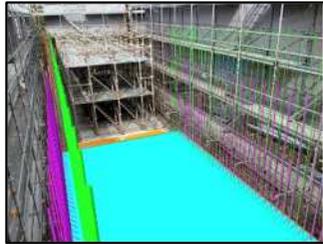
躯体構築の照査・施工の効率化を目的としたMR(複合現実)技術の活用や3Dモデル化により、配筋状況の**視認性向上**に加え、設計照査段階で鉄筋組み立て手順も考慮することで鉄筋交差部や過密部の部材干渉**事前検討を実施することが可能**となり、配筋計画の深堀りや施工手戻りを防止する事ができた。さらには**配筋自主確認の効率化**も図る事ができた。

配筋状況

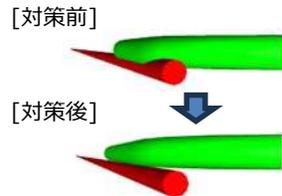


部材干渉検討

配筋間隔における視認性



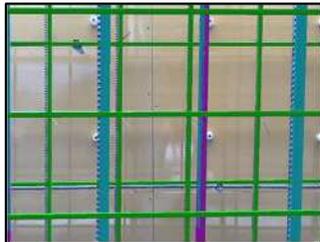
干渉部拡大



自主配筋検査状況

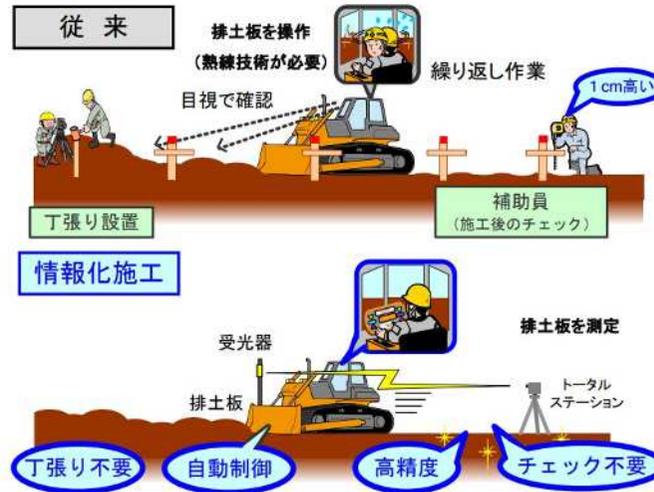


CIMモデルとの重ね合わせ



(ICT道路土工の活用)

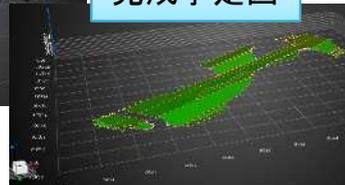
ICT道路土工では、従来の測量・丁張設置に割っていた**人手と時間を削減**し、データ化した3D情報技術を用いて完成形状の線形を機械に取り込む事で、運転席内モニターでオペレータが線形を視認しながら施工する事(マシンガイダンス機能)や、機械の自動制御機能(マシンコントロール機能)により、過度な掘削の防止や適切な法面勾配の保持が可能となる為、**施工管理精度の大幅な向上と手直し等のロス削減**となった。



起工測量データ



完成予定図



(建設ディレクター制度)

建設ディレクターとは、ITとコミュニケーションスキルで現場を支援する新しい職域制度

(遠隔作業につき現場には常駐しない)

現場技術者の負担を軽減し、作業の効率化と就労時間の短縮を図る効果的な取組として「働き方改革への取組」にもつながった。

(生産性向上・残業時間削減)

また、**女性や若手**によるリモートワークでも作業可能なため、多様な働き方が可能となった。

今回の活用内容

- ・締固め回数分布図の確認 **(品質)**
 - ・ICT土工完了時の3D出来形確認 **(出来形)**
 - ・安全書類(グリーンサイト)の確認 **(安全)**
 - ・工事写真取り込み・エラーチェック **(写真)**
 - ・電子建退共申請補助 **(事務作業)**
 - ・出来形・品質管理帳票の精査 **(検査書類)**
- 遠隔的バックオフィスでの支援

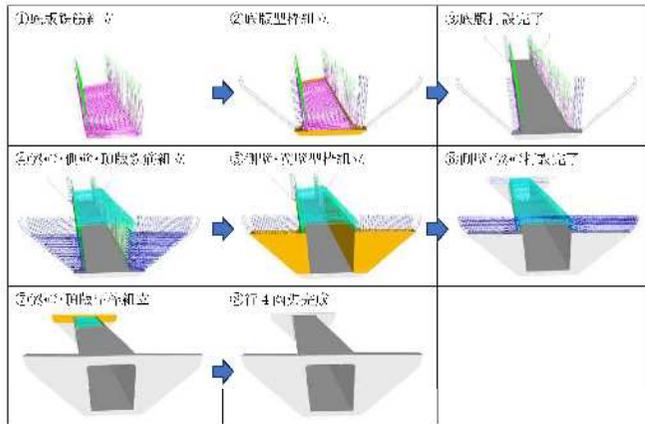
「建設ディレクター」ってどんな仕事?



【先進性】

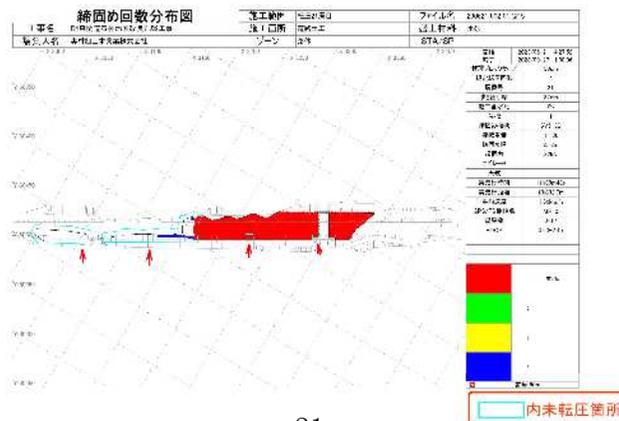
(CIMモデルの活用)

CIMモデルの活用で、若手世代層や近年増加傾向の外国就労者へのサポートとして、工事進捗イメージを施工ステップごとに具体的に可視化することで、**施工手順の共通認識**が生まれ、**進捗性・安全性の向上**につながる。また、施工上で鉄筋交差部や過密部などでの**組み立て手順の確認**や、**対応案の検討**に詳細な情報を伝達することができた。



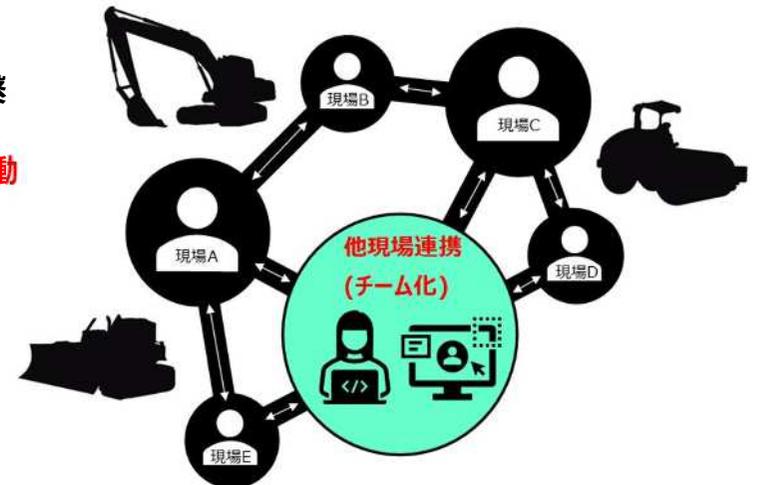
(ICT道路土工の活用)

ICT土工に関しては、締固め回数分布図のチェックなどi-Constructionに関する業務を建設ディレクターが担うことで、**労働時間の平準化**を図った。その結果、**現場担当者の内勤業務が軽減**され、その分**現場管理や人材指導・育成**などにも**専念**できていた。また、建設ディレクターは、TeamsやWebカメラにより繋がるため、**遠隔地（今回は大阪）**にいながら**バックオフィス**として大きく貢献するなど**多様な働き方**を創出できた。



(建設ディレクター制度)

IT技術とコミュニケーションスキルで現場を支援する『建設ディレクター制度』を現場に取り入れて、**チームとして他現場と連携しながらリアルタイムで現場管理を進めることが可能**となった。



全現場へ配置されたWebカメラ (safie) の画像を、本支店の各部署に設置された大型モニターで常時放映することで、**遠隔地にいながら施工状況を共有**し、**工事写真の整理や安全管理等の書類作成への支援**に貢献できた。



【波及性】

2024年4月から始まる**働き方改革**では、長時間労働への対応や勤務環境の改善などが求められる一方、建設業の担い手不足は深刻で、離職対策や入職者確保が課題となっている。

課題への取り組みとして、未経験者・女性や介護離職者等の新たな職域となるべく創設された**建設ディレクター制度**を採用し、**遠隔的バックオフィス**で活用することで**多様な働き方が可能**となる。

これにより建設業への就業窓口を広げるとともに風通しの良い職場環境改善による**離職者の減少**が期待できる。

また、**経験を積むことでスキルの向上**が見込め、専門性の高い業務への対応が実現すれば、**更なる活躍が可能**である。

当工事では、数ある工事関連業務の中で、建設キャリアアップシステム連動サイトによる施工体制・安全衛生書類の確認や、下請への指導、電子建退協および施工管理ソフトに関する業務補助等も遠隔的バックオフィス業務に取り入れ、さらにはCIM 3次元モデル構築技術を取得させるなどの取り組みも行っており、**今後も活用の幅が広がる**ことが期待される。

